

作成日 2016/01/18
改訂日 2018/02/21

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	漂白セラックニス
製品コード	291003-1
整理番号	HNT0031360-3
供給者の会社名称	東日本塗料株式会社
住所	124-0006 東京都葛飾区堀切3丁目25番18号
担当部門	品質保証部
電話番号	0480-65-5880
FAX番号	0480-65-5798
緊急連絡電話番号	0480-65-5880
推奨用途及び使用上の制限	塗料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分2
健康有害性	急性毒性（経口） 区分4 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2 生殖毒性 区分1B 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分1（視覚器 全身毒性 中枢神経系） 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（麻酔作用 気道刺激性） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（血液系 視覚器 中枢神経系） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（肝臓 呼吸器 脾臓） 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H225 引火性の高い液体及び蒸気
H302 飲み込むと有害
H319 強い眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H370 視覚器、全身毒性、中枢神経系の障害
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による血液系、視覚器、中枢神経系の障害
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、呼吸器、脾臓の障害のおそれ

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地すること。アースをとること。(P240)
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。(P241)

<p>応急措置</p>	<p>火花を発生させない工具を使用すること。(P242)</p> <p>静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)</p> <p>ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)</p> <p>ガスの吸入を避けること。(P261)</p> <p>ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)</p> <p>粉じん、ヒュームの吸入を避けること。(P261)</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)</p> <p>取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)</p> <p>屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)</p> <p>保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)</p> <p>保護手袋を着用すること。(P280)</p>
<p>保管</p>	<p>皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)</p> <p>吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)</p> <p>眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)</p> <p>気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)</p> <p>気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)</p> <p>特別な処置が必要である。(P321)</p> <p>口をすすぐこと。(P330)</p> <p>眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)</p> <p>火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)</p>
<p>廃棄</p>	<p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)</p> <p>換気の良い冷所で保管すること。(P403+P235)</p> <p>施錠して保管すること。(P405)</p> <p>内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)</p>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
メタノール	40-50%	CH ₃ OH	(2)-201	既存	67-56-1
イソプロピルアルコール	20-30%	CH ₃ CH(OH)CH ₃	(2)-207	2-(8)-319	67-63-0

分類に寄与する不純物及び安 情報なし

定化添加物

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）

プロピルアルコール（法令指定番号：494）（22%）

メタノール（法令指定番号：560）（45.3%）

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて

飲み込んだ場合
容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性
特有の消火方法
消火を行う者の保護
泡、噴霧水、乾燥砂、粉末、炭酸ガス
棒状注水。
極めて燃え易い：熱、火花、火災で容易に発火する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
関係者以外は近づけない。
風上に留まる。
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材
河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
危険でなければ漏れを止める。
除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
二次災害の防止策
すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
安全取扱注意事項
接触回避
保管
安全な保管条件
『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
排気用の換気を行うこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
容器は直射日光や火気を避けること。
容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策
保護具
呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
気中濃度を推奨された管理濃度・許容濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。
本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。
適切な呼吸器保護具を着用すること。
保護手袋を着用すること。
眼の保護具を着用すること。
必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	液体
形状	液体
色	乳白色
臭い	溶剤臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	64.1~82.4℃
引火点	11℃ (セタ密閉式)
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲	
下限	2.5
上限	36.5
蒸気圧	12665Pa
蒸気密度	データなし
比重(密度)	0.87
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘性率	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	情報なし。
危険有害反応可能性	情報なし。
避けるべき条件	加温、火気
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	混合物の急性毒性推定値が1800mg/kgのため急性毒性(経口)一区分4とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	混合物の成分の眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性一区分2の濃度合計が67%のため眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性一区分2とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	混合物の成分の生殖毒性一区分1Bの濃度が45%のため生殖毒性一区分1Bとした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	混合物の成分の特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分3(気道刺激性)の濃度が22%のため特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分3(気道刺激性)とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分3(麻酔作用)の濃度が45%のため特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分3(麻酔作用)とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分1(視覚器)の濃度が45%のため特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分1(視覚器)とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分1(全身毒性)

<p>特定標的臓器毒性（反復ばく露）</p>	<p>の濃度が45%のため特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分1（全身毒性）とした。</p> <p>混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分1（中枢神経系）の濃度が45%のため特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分1（中枢神経系）とした。</p> <p>混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分2（肝臓）の濃度が22%のため特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分2（肝臓）とした。</p> <p>混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（血液系）の濃度が22%のため特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（血液系）とした。</p> <p>混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分2（呼吸器）の濃度が22%のため特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分2（呼吸器）とした。</p> <p>混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分2（脾臓）の濃度が22%のため特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分2（脾臓）とした。</p> <p>混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（視覚器）の濃度が45%のため特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（視覚器）とした。</p> <p>混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（中枢神経系）の濃度が45%のため特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（中枢神経系）とした。</p>
<p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>データなし</p>

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	データなし
水生環境有害性（長期間）	データなし
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	モンリオール議定書の付属書に列記された物質を含まない。
その他	データなし

1 3. 廃棄上の注意

<p>残余廃棄物</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。</p> <p>特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。</p> <p>本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。</p>
<p>汚染容器及び包装</p>	<p>容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	I M Oの規定に従う。
UN No.	1263
Proper Shipping Name	PAINT
Class	3

Packing Group	II
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code.	Not applicable
航空規制情報	I C A O / I A T Aの規定に従う。
UN No.	1263
Proper Shipping Name	PAINT
Class	3
Packing Group	II
国内規制	取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。 陸上輸送 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。 海上輸送 船舶安全法に定めるところに従う。 航空輸送 航空法に定めるところに従う。
陸上規制	該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	1263
品名	塗料
国連分類	3
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	1263
品名	塗料
国連分類	3
等級	II
緊急時応急措置指針番号	127

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質（法第2条第5項）
労働安全衛生法	第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号） 作業環境評価基準（法第65条の2第1項） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
消防法	第4類 第一石油類（水溶性）
大気汚染防止法	特定物質（法第17条第1項、政令第10条） 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） 揮発性有機化合物 法第2条第4項（平成14年度VOC排出に関する調査報告）
海洋汚染防止法	有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	引火性液体類（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）

特定有害廃棄物輸出入規制法（廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの（平10三
バーゼル法）
労働基準法
疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

16. その他の情報

連絡先
参考文献

東日本塗料株式会社
溶剤便覧
製品評価技術基盤機構(NITE)
メーカーSDS
日本工業標準調査会「JISZ7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
日本工業標準調査会「JISZ7252 GHSに基づく化学品の分類方法」
日本塗料工業会編集「容器イエローカード(ラベル方式)塗料マニュアル改訂版」

その他

日本ケミカルデータベース製物質データベース
[注 意] 危険性・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意して下さい。
この製品の製品安全データシートの記載内容のうち含有量、物理化学的性質などの値は、保証値ではありません。
記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しておりますが、すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いに当たっては細心の注意が必要です。
注意事項は通常の手取扱いを対象としたものである為、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。
又それらが実際の使用状況に相応しているか、環境保護の目的にそっているか、あるいは貴社の従業員の方々や貴社製品購入者の健康・安全を損なわないか等については、貴社の責任にてご判断願います。